

(様式第3号)

## パブリックコメント（意見公募） 手続による意見募集の結果公表

意見募集結果及び寄せられた意見に対する市の考え方について、次のとおり公表します。  
ご協力に感謝申し上げます。

### 【意見募集の集計結果】

1	案 件 名	第3次千歳市健康づくり計画（素案）	
2	意見募集期間	令和5年12月18日（月）～令和6年1月19日（金）	
3	意見の件数（提出者数）	3件（2人）	
4	意見の取扱い （対応内容の分類）	① 案を修正するもの	1件
		② 既に案に盛り込んでいるもの	-件
		③ 今後の参考とするもの	1件
		④ 意見として伺ったもの（案件に直接関係がないため）	1件
5	意見の受け取り方法	電子メール	1人
		郵送	-人
		ファクシミリ	-人
		意見箱	1人
		直接持参	-人

## 【市民意見等の概要とそれに対する市の考え方】

No.	市民意見等の概要	件数	市民意見等に対する市の考え方
1	<p>75 ページに掲げる新規施策「(仮称) 空気がきれいなまち・千歳認定制度の導入の検討」について伺います。現在、北海道では同様の取組「北海道のきれいな空気の施設登録事業」を行っていますが、登録には、第2種施設の屋内完全禁煙(分煙不可)が必須条件となっています。千歳市の当該施策でも、同様に完全禁煙が条件となりますか。</p> <p>第2種の事業所・飲食店等では一定の喫煙室設置が法令で認められていることや、喫煙場所なく完全禁煙を行った場合、路上喫煙等が増加し「望まない受動喫煙」を助長する可能性が高まるため、適切な喫煙室の設置を推奨する取組が重要と考えます。</p>	1	<p>分類～③ 今後の参考とするもの</p> <p>「(仮称) 空気がきれいなまち・千歳認定制度の導入」については、喫煙される方で禁煙・節煙意向がある方、禁煙意欲を後押しする社会的取組が必要と思う方の割合が、6割以上であるなどの本市の実情を踏まえ、計画期間中の導入を検討する施策であります。</p> <p>市としましては、喫煙する方を含む市民の健康づくりとして、自然に健康になれる環境づくりの側面からも、より多くの事業者等に参画いただく必要があると受け止めております。</p> <p>今後は、ご意見を参考にしながら、効果的な施策の導入について検討してまいります。</p>
2	<p>33 ページ下段の「サードハンドスモーク」の解説について伺います。文中で「それにより健康被害を受けます。」と断定する記述がありますが、確定的な科学的根拠があるのでしょうか。一部の自治体や医療機関ではサードハンドスモークによる健康被害を根拠なく発信されていますが、一部の人に誤解が生まれ、「喫煙する人には近づいてはい</p>	1	<p>分類～① 案を修正するもの</p> <p>「サードハンドスモーク」については、新しい概念であるため、受動喫煙防止対策の推進において、各分野の報告から様々な表現で用いられておりますが、国の普及啓発の在り方などを参考に、誤解が生じないよう表現を修正します。</p>

	<p>けない」等の差別的な風評被害が発生することが懸念されます。</p>	<p>【修正前】  ※ サードハンドスモーク  たばこを消した後の残留物から有害物質を吸入すること。煙の有害成分が壁や衣類などに付着・放出し、それにより健康被害を受けます。</p> <p>【修正後】  ※ サードハンドスモーク（三次喫煙）  衣服や室内に付着したたばこの煙（残留たばこ煙）の成分が空気中に漂い吸入すること。新しい概念であり、国による明確な健康影響は示されておりませんが、調査の動向が注視されています。</p>
<p>3</p>	<p>団体ではなく個人で気軽に立ち寄れる運動器具がある屋内型施設が、市内の日常生活圏域に最低でも1か所（空き家を利用するなど）あると、誰もが利用し健康になると思います。</p>	<p>1</p> <p>分類～④ 意見として伺ったもの（案件に直接関係がないため）</p> <p>介護保険法の規定に基づく本市の日常生活圏域は、東、西、南、北、向陽台の5つの区を設定しておりますが、運動器具を設置している公共施設は、スポーツセンター（南区）、総合武道館（北区）があり、広く市民の皆様にご活用いただいているほか、最近では民間事業者によるスポーツジムなども増加しており、市が、健康増進の一環として、地域ごとに新たな施設の整備等を行うことは考えておりません。</p> <p>市は、本計画の推進により、施設に足を運ぶことなく誰も</p>

		<p>が気軽に健康運動に取り組むことができるよう、「ウォーキングの推奨（ポールの無料貸出）」や「いきいき百歳体操の普及（インターネット配信・DVD 無料貸出）」などの取組を進めるほか、「(仮称) ちとせ健康運動プラス 10 の導入」を掲げるなど、身体活動・運動量増加のための新たな取組を展開してまいります。</p>
--	--	---